

令和3年度決算概要報告

◆法人全体

項目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	R3決算	R3当初予算	予算差引(①-②)	R2決算	前年度差引(①-④)	
経常費用合計※	82,975	81,989	986	79,971	3,004	
経常収益合計※	85,755	81,938	3,817	82,840	2,915	
経常利益	2,779	▲50	2,830	2,868	▲88	
臨時損失	80	-	80	135	▲54	
臨時利益	86	-	86	29	57	
当期純利益	2,786	▲50	2,836	2,762	23	
目的積立金取崩額	91	50	41	389	▲297	
当期総利益	2,878	-	2,878	3,151	▲273	
経常損益+目的積立金取崩額	2,871	-	2,871	3,257	▲385	
経常収支比率※	103.4%	99.9%	3.4%	103.6%	▲0.2%	※経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

※経常費用及び経常収益の合計は、内部取引を相殺して表示しているため、各セグメントの合計と一致しません。

◆大学

項目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	R3決算	R3当初予算	予算差引(①-②)	R2決算	前年度差引(①-④)	
教育経費	1,667	1,619	48	1,597	70	LMS構築費の増(+90)、光熱水費の増(+44)、MMSC賃室料(+25)、フェロシップ創設事業の増(+12)、R2基幹ネットワークシステム更新費の減(▲105)
研究経費	3,225	3,350	▲125	3,493	▲267	大型AMED補助金研究費の減(▲475)、戦略的研究推進事業(コロナ分)の増(+50)、受託研究費獲得増に伴う支出の増(+43)、光熱水費の増(+34)
人件費合計	7,725	7,860	▲135	7,769	▲44	
役員人件費	44	45	▲1	43	-	
教員人件費	5,260	5,422	▲161	5,305	▲45	常勤教員: ▲43(4,967→4,924) 非常勤教員: ▲2(337→339)
セグメント人件費振替額	51	35	16	66	▲14	
職員人件費	2,011	2,031	▲20	2,016	▲4	常勤職員: +50(1,720→1,770) 非常勤職員: ▲55(297→242)
退職給付引当金繰入	357	325	31	337	19	数理計算上の差異取崩額の増(+12)、退職給付繰入額の増(+8)
一般管理費等	970	918	52	977	▲6	MMSC賃室料(▲25)、警備等設備管理業務委託費の減(▲12)、消費税納付算出額の増(+33)
減価償却費	913	808	104	939	▲26	
経常費用合計	14,502	14,557	▲55	14,777	▲275	
運営費交付金収益	7,372	7,377	▲5	7,252	119	期間進行基準(+61):DS・国総再編分の増等 費用進行基準(+59):市在籍期間退職費用の増
授業料収益等	3,154	3,181	▲26	3,151	3	授業料、入学金収益の増※(+9)、検定料収入の減(▲6) ※休退学者の減(+11)、研究生の減(▲3)
外部資金合計	2,960	2,872	87	3,326	▲366	※収益≠獲得額 ※収益=費用
受託	1,999	2,055	▲56	1,915	83	収益化額の増による
奨学寄附金	437	573	▲136	447	▲10	収益化額の減による
補助金	524	243	280	963	▲439	大型AMED補助金の減(▲475)、市LIP関連補助金の減(▲39)、デジタル活用教育高度化事業の増(+90)
資産見返負債戻入	565	528	36	535	29	
雑益等	669	549	120	719	▲49	寄付金収益の増(+8)、財産貸付料収入の増(+11)、福浦C損害保険料の皆減(▲76)
経常収益合計	14,722	14,510	211	14,985	▲263	
経常利益	219	▲47	266	208	11	
臨時損失	20	-	20	8	11	建物附属設備除却損の増(+13)
臨時利益	65	-	65	9	56	R1~2 損益外減価償却処理の誤謬修正(+57)
当期純利益	264	▲47	311	209	55	
目的積立金取崩額	70	47	23	276	▲206	施設整備・ICT整備の費用計上の減(▲176)、運営交付金(退職金市負担分)不足分の減(▲40)、数理計算上の差異(+12)
当期総利益	334	-	334	485	▲150	
経常損益+目的積立金取崩額	290	-	290	485	▲194	
人件費比率※1	52.5%	54.2%	▲1.7%	51.8%	0.6%	
経常収支比率※2	101.5%	99.7%	1.8%	101.4%	0.1%	

※1 大学人件費比率 = 人件費 / 経常収益

※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

◆附属病院

(単位:百万円)

項目	① R3決算	② R3 当初予算	③ 予算差引 (①-②)	④ R2決算	⑤ 前年度差引 (①-④)	対前年度増減理由
診療経費	17,015	16,374	640	15,839	1,176	
うち医薬品費	7,913	7,647	266	7,103	810	・単価が高い抗がん剤や難病治療薬の購入額の増加(+735) (キムリア点滴静注(196)、医療用医薬品(398)、検査試薬(33)、放射線医薬品(42)、輸血用血液(66))
うち診療材料費	3,854	3,851	3	3,702	152	・診療材料費の増(+183) 医療用消耗品器具備品費の減(▲31)
うち光熱水費	497	488	8	431	65	・ガス及び電力単価の高騰に伴う増:電気料(+28)、ガス料(+33)
教育・研究・受託研究・ 一般管理費等	886	918	▲31	904	▲17	受託研究費支出の増(+53)、消費税納付額の増(+7)、基幹ネットワーク保守費の増(+4)、Y-NEXT・治験人件費振替の減(▲80)
人件費	13,333	13,306	26	12,952	381	
教員人件費	1,869	1,828	41	1,730	139	・定期昇給(+14) ・人員増減等(+69)(助教+3人、講師+3人)+6人 ・はじめ病院手当(+8) ・退職金(市負担分)増(+3)
セグメント人件費 振替額	242	261	▲18	232	10	
職員人件費	10,845	10,854	▲8	10,633	212	・定期昇給(+112)・人員増減等(+95) ・期末勤勉手当(▲0.15か月)(▲65)、はじめ病院手当(+46)、コロナ対応手当(+8) ・退職金(市負担分)(▲8)・受託研究費の人件費振替減による増(+80)
退職給付引当金繰入	375	362	12	356	18	数理計算上の差異取崩し額の増(+3)、退職給付繰入額の増(+15)
減価償却費	1,678	1,738	▲59	1,440	238	・R2年度コロナ補助金の資産取得に伴う増(+283)
経常費用合計	32,914	32,338	576	31,136	1,778	
運営費交付金収益	2,742	2,733	9	2,623	119	
運営交付金交付額	3,069	3,084	▲14	3,003	66	
資産取得分等 (施設設備等)	▲326	▲351	24	▲380	53	・施設整備費等の資産取得の減
附属病院収益	27,952	27,706	246	26,484	1,468	
うち入院収益	17,326	17,410	▲83	16,769	557	・入院単価の増加に伴う増 ⇒単価の上昇は、DPC入院期間Ⅱ日以内の退院割合の増加や重症系病床の特定入院料の増加などが影響。 ・入院者減少に伴う減 ⇒延べ入院患者数の減少は、COVID-19への対応による診療抑制等による新入院患者数の減少などが影響。
うち外来収益	10,407	10,021	386	9,488	919	・外来単価の増加に伴う増 ⇒単価の上昇は、外来化学療法実施件数の増加等による注射料の増加や、COVID-19PCR検査件数の増加等による検査料の増加などが影響。 ・外来患者の増加に伴う増
資産見返負債戻入	767	801	▲33	489	278	・R2年度コロナ補助金の資産見返の増(+283)
受託研究等収益	542	576	▲34	570	▲28	・受託研究費費用支出の増(+55) ・Y-NEXT人件費振替の減(▲85)、治験人件費の増(+5)
補助金等収益	2,002	255	1,746	2,676	▲674	
雑益等	407	264	143	287	120	災害復興支援特別基金等の寄付金受入に伴う寄付金収益の増(+80) 医師賠償責任保険の保険金収入の増(+40)
経常収益合計	34,415	32,338	2,077	33,130	1,285	
経常利益	1,500	-	1,500	1,994	▲493	
臨時損失	59	-	59	19	40	過年度の特定資産の減価償却費処理誤りによる増(+55) 固定資産除売却損(+4)
臨時利益	20	-	20	7	13	過年度分の特定共同指導の保険者(社保)分の返還に伴う財務処理(+20)
当期純利益	1,462	-	1,462	1,982	▲520	
目的積立金取崩額	4	-	4	40	▲35	・運営交付金(退職金市負担分)不足充当(0→+40) ・数理計算上の差異(+4)
当期総利益	1,466	-	1,466	2,022	▲556	
経常損益+目的積立金取崩額	1,505	-	1,505	2,034	▲529	

入院単価	92,247円	85,848円	6,399円	87,215円	5,032円
入院患者数(のべ数)	186,743人	201,710人	▲14,967人	191,299人	▲4,556人
新入院患者数	15,930人	16,809人	▲879人	15,851人	79人
病床稼働率	78.2%	84.5%	▲6.3%	80.1%	▲1.9%
平均在院日数	11.7日	12.0日	▲0.3日	12.1日	▲0.4日
外来単価	23,584円	22,944円	640円	22,252円	1,332円
外来患者数/1日	1,810人	1,800人	10人	1,743人	67人
外来初診患者数/1日	151人	149人	2人	140人	11人
手術件数	6,576件	6,800件	▲224件	6,506件	70件
救急車受入台数	3,320件	-件	3,320件	3,335件	▲15件
医薬材料費比率 ^{※1}	42.1%	41.5%	0.6%	40.8%	1.3%
人件費比率 ^{※2}	47.7%	48.0%	▲0.3%	48.9%	▲1.2%
経常収支比率 ^{※3}	104.6%	100.0%	4.6%	106.4%	▲1.8%

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。
 ※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入額+当期医薬材料購入額-翌月(年)繰越額) / 附属病院収益
 (翌月(年)繰越額は前月(年)繰入額と同額と仮定して計算しています。)
 ※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益
 ※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第3期中期計画目標値
 ・平均在院日数 14日
 ・医薬材料費比率:38%
 ・人件費比率:50%

項 目	① R3決算	② R3 当初予算	③ 予算差引 (①-②)	④ R2決算	⑤ 前年度差引 (①-④)	対前年度増減理由
診療経費	18,443	17,967	475	17,529	914	
うち医薬品費	8,313	8,110	203	7,959	354	・外来化学療法件数の増加(+1,052件)等による高額医薬品の購入量増加
うち診療材料費	4,652	4,217	434	4,364	287	・手術件数(+58件)の上昇による増
うち光熱水費	621	677	▲56	548	72	
教育・研究・受託研究・ 一般管理費等	519	570	▲51	489	29	
人件費	14,725	14,896	▲171	14,575	149	
教員人件費	2,684	2,882	▲197	2,600	84	・定期昇給(+15)・宿日直手当の増等(+79) ・管理職手当:▲4ポスト(兼務)、+1ポスト、休職(▲4) ・超過勤務時間の縮減(▲7)
セグメント人件費 振替額	▲293	▲296	2	▲298	4	
職員人件費	11,901	11,900	-	11,863	37	・定期昇給(+142)・人員増減: +12人(+30) ・コロナ対応手当(+11)・超過勤務時間の増(+107) ・休職(▲108)・賞与(▲63)・退職手当(▲55)
退職給付引当金 繰入	432	409	22	410	22	
減価償却費	1,896	1,659	237	1,548	348	・リニアック(+73)、ダ・ヴィンチ2台(+88)の導入による増 ・R2年度にコロナ補助金で購入した医療機器等による増(+167)
経常費用合計	35,583	35,093	490	34,141	1,441	
運営費交付金収益	1,842	1,822	19	1,950	▲108	
運営交付金交付額	2,046	2,119	▲73	2,371	▲325	・R2本館3階手術室増設工事(▲252)等の減(▲355) ・本館3階手術室改修工事(+20)、薬剤部改修工事(+46)による増
資産取得分等 (施設設備等)	▲203	▲297	93	▲420	217	・施設整備費の減に伴う資産取得の減
附属病院収益	31,453	32,441	▲987	30,006	1,447	
うち入院収益	19,483	20,129	▲646	18,891	591	・手術件数の増(+58件)、コロナ特定入院料の増加等による入院単価の増(+6,351円)
うち外来収益	11,800	12,003	▲202	10,891	908	・外来患者数の増(+76人/日) ・外来化学療法件数増加に伴う注射料の増加による外来単価の上昇(+1,050円)
資産見返負債戻入	531	349	181	335	195	・コロナ補助金による医療機器整備等による増
受託研究等収益	162	166	▲4	138	23	
補助金収益等	2,377	72	2,305	2,141	236	
雑益等	275	237	37	234	40	
経常収益合計	36,642	35,090	1,552	34,807	1,835	
経常利益	1,059	▲3	1,062	666	393	
臨時損失	-	-	-	106	▲106	・R2血液照射装置除却の減(▲91)による減
臨時利益	-	-	-	11	▲11	
当期純利益	1,059	▲3	1,062	571	488	
目的積立金取崩額	17	3	14	72	▲54	
当期総利益	1,076	-	1,076	643	433	
経常損益+目的積立金取崩額	1,076	-	1,076	738	338	

入院単価	95,787円	87,060円	8,727円	89,436円	6,351円	
入院患者数(のべ数)	202,252人	230,315人	▲28,063人	209,905人	▲7,653人	
新入院患者数	17,853人	19,600人	▲1,747人	18,578人	▲725人	
病床稼働率	86.4%	91.4%	-5.0%	83.3%	3.1%	※令和3年度稼働病床644床(令和2年度690床)
平均在院日数	11.3日	11.2日	0.1日	11.3日	0.0日	
外来単価	25,728円	24,750円	978円	24,678円	1,050円	
外来患者数/1日	1,886人	2,000人	▲114人	1,810人	76人	
外来初診患者数/1日	172人	200人	▲28人	159人	13人	
手術件数	8,304件	8,700件	▲396件	8,246件	58件	
救急車受入台数	4,518件	-	4,518件	4,344件	174件	
医薬材料費比率 ^{※2}	41.2%	38.0%	3.2%	41.1%	0.1%	
人件費比率 ^{※3}	46.8%	45.9%	0.9%	48.6%	▲1.8%	
経常収支比率 ^{※4}	103.0%	100.0%	3.0%	102.0%	1.0%	

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。
 ※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入額+当期医薬材料購入額-翌月(年)繰越額) / 附属病院収益
 (翌月(年)繰越額は前月(年)繰入額と同額と仮定して計算しています。)
 ※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益
 ※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第3期中期計画目標値

- ・平均在院日数 12日
- ・医薬材料費比率: 38%
- ・人件費比率: 50%